

参議院選挙に関する調査結果

2016年7月11日

NIRA総合研究開発機構
中核層・信頼社会のアンケート調査に関する
研究プロジェクトチーム

データ

- NIRA総研 第2回中核層調査
 - 日経リサーチ委託によるインターネット調査
 - 18～69歳の男女2174名
 - ✓ 年齢×性別によるクォータ・サンプリング
 - 調査期間：6月30日～7月6日
- ご注意いただきたい点
 - ネット調査(ランダム・サンプリングではありません)
 - 選挙調査ではありません(関連調査項目は限定)

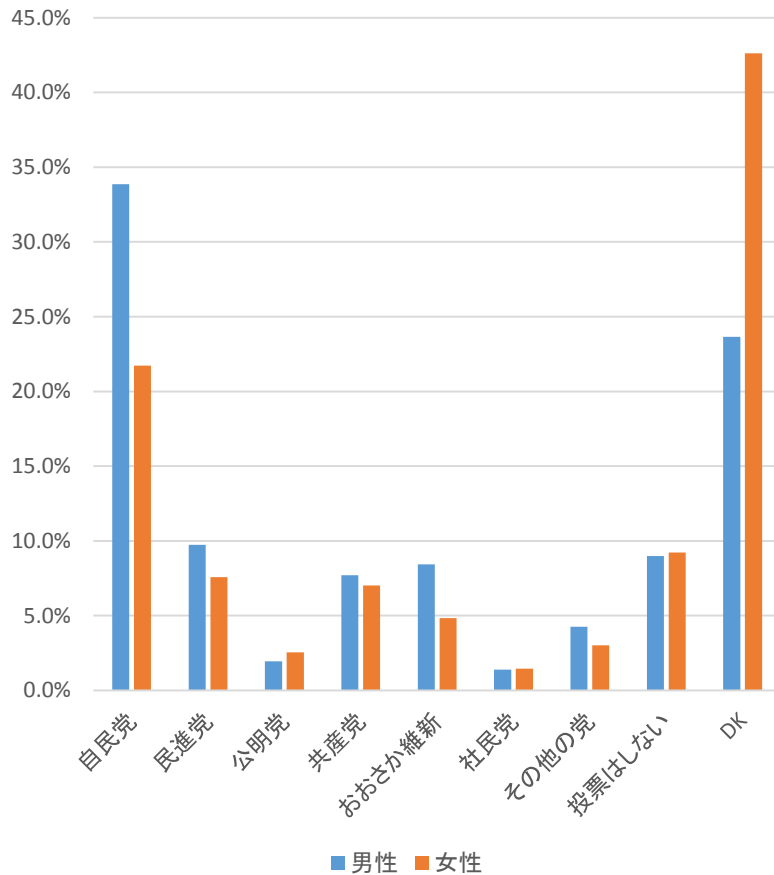
投票予定政党

自民	30.5
民進	9.5
公明	2.5
共産	8.1
維新	7.3
わからない	36.5

(棄権除外後の%)

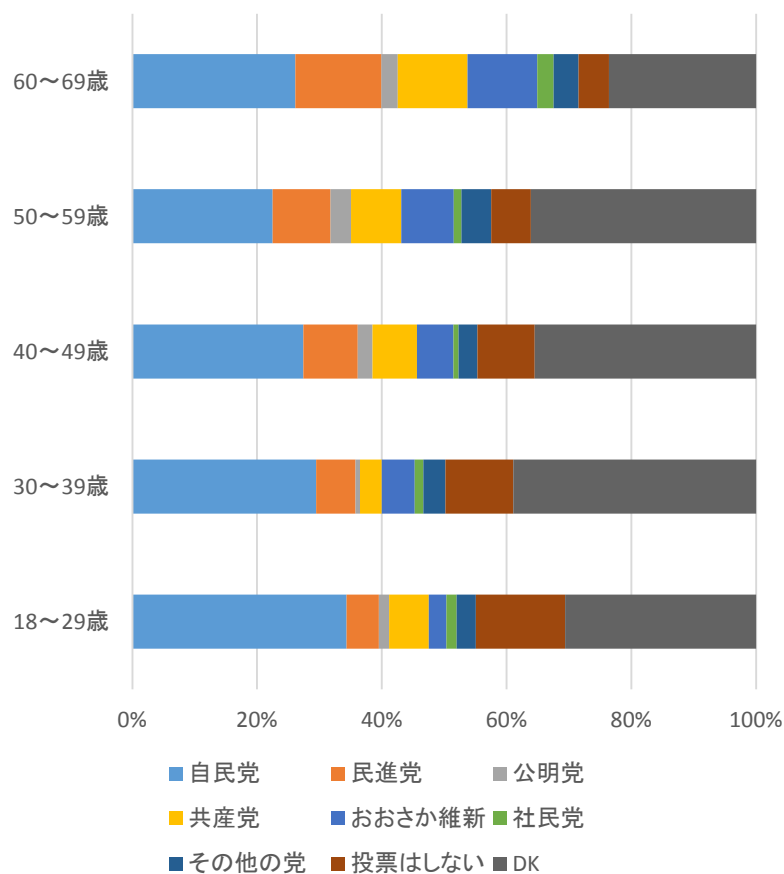
- 自民堅調
- 民進伸び悩み
- 共産躍進か
- 関心は低

性別 × 投票予定政党



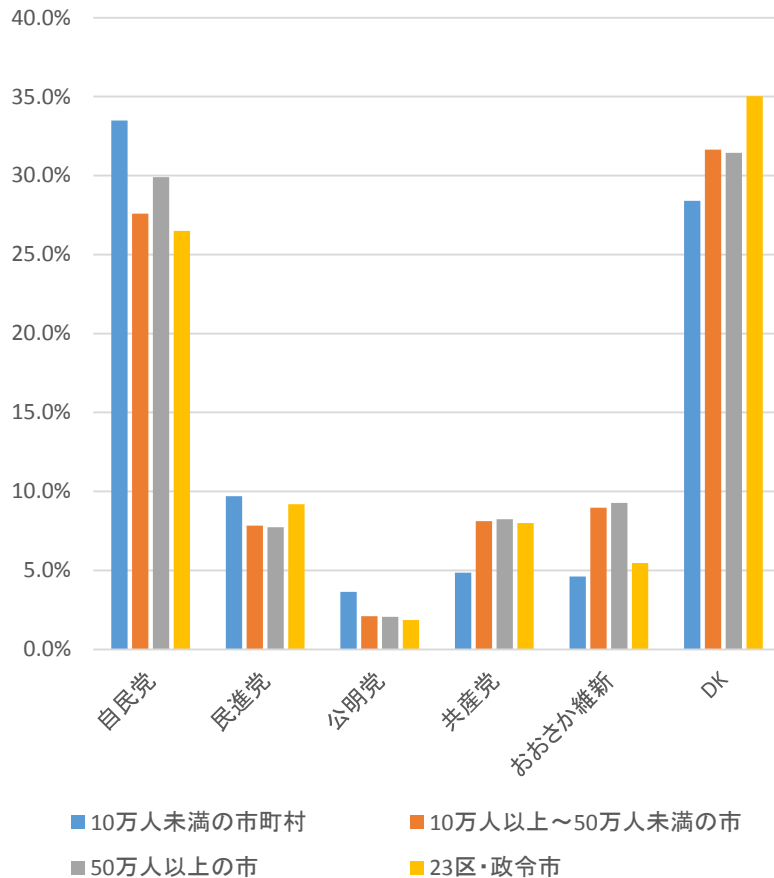
- 自民は男性 > 女性
- 女性はDKが5割近い

年齢 × 投票予定政党



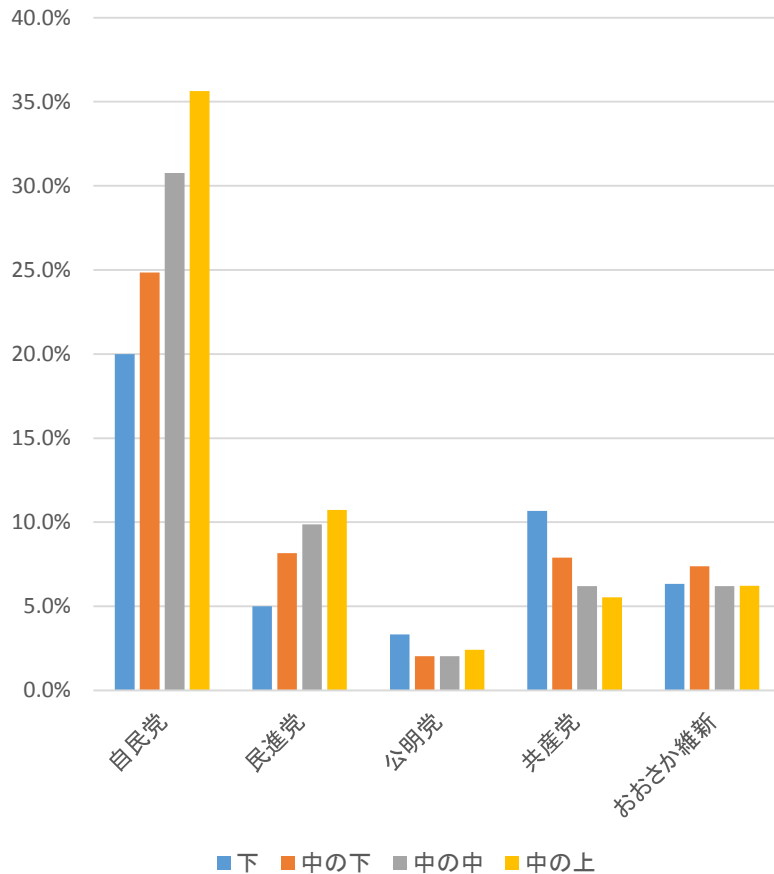
- 自民は高齢者に加え、若年層からも得票
- 民進・維新は若者が支持する政党ではない
- 若年層ほど棄権多い

都市規模 × 投票予定政党



- 都市部に多い未定層 (DK)
- 小規模市町村では自民優位
- 政令市では第二党をめぐり共産が民進を猛追

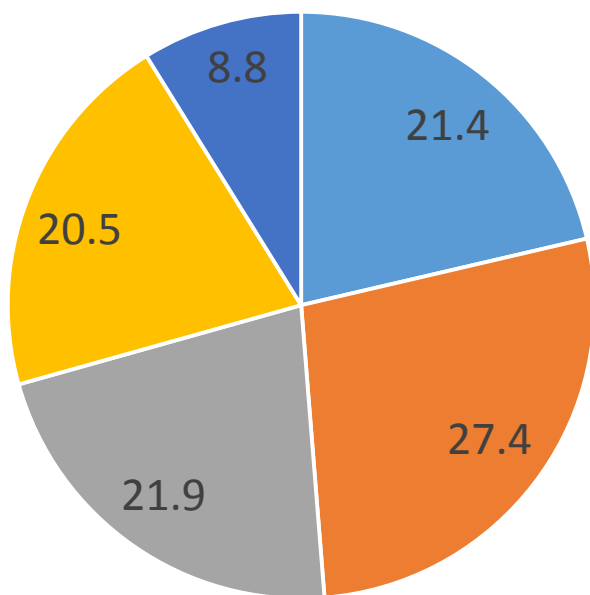
階層 × 投票予定政党



- 民進は「分厚い中間層」の政党とは言えない
- 下層から「中の下」にウイングを伸ばしつつある共産

※「上」は該当数が少ないため省略

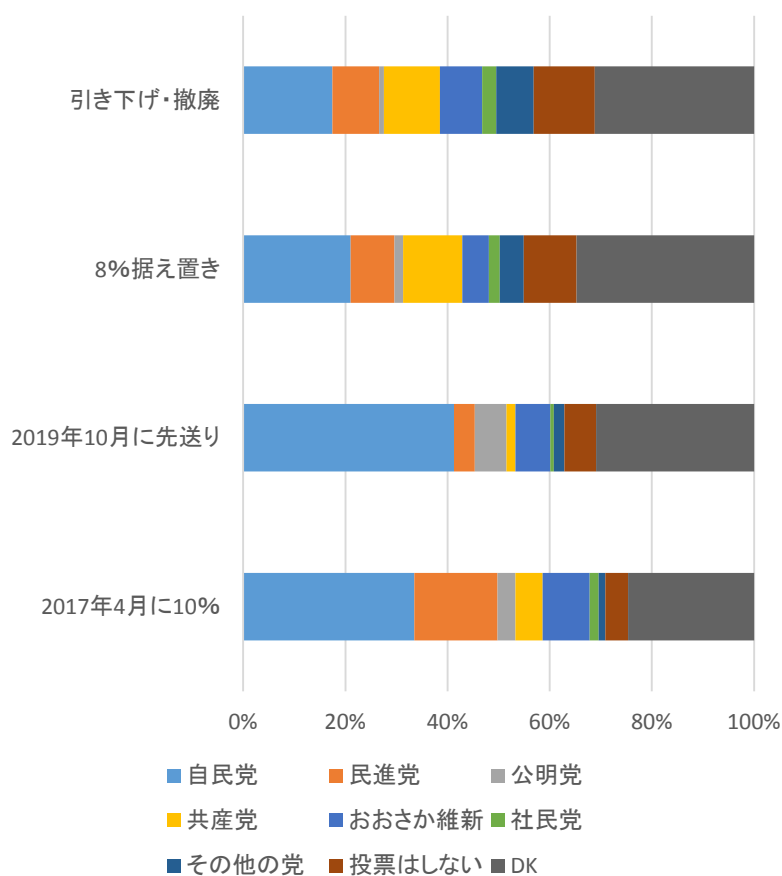
消費税問題



- 2017年4月に10%
- 2019年10月に先送り
- 8%据え置き
- 引き下げ・撤廃
- DK

- 2017年に増税しないことには賛成多数
- 10%引き上げ自体は賛成約5割

消費税 × 投票予定政党



- 17年4月引き上げ派では、相対的に民進投票者が多い
- 19年10月先送り派では、自民投票者が優位
- 引き下げ・撤廃派では、共産が第二党

党派性

自民	37.9
民進	9.2
公明	2.0
共産	6.1
維新	5.8
無党派	35.1

2014年(UTAS)との比較

- 無党派が10ポイント増
 - ✓ 調査方法の違いに注意
- 相対的分布には大きな変化なし
 - ✓ 共産微増, 拒否感低下?

党派性 × 投票予定政党

	自民	民進	公明	共産	維新	棄権	DK
自	73	1	1	1	4	2	16
民	4	69	1	7	2	1	14
公	8	3	81	3	3	0	3
共	2	7	1	77	0	3	9
維	8	3	1	2	74	2	9
無	8	5	1	6	5	25	43

(単位:行の%)

- 民進の歩留まり低迷
- 無党派はDK圧倒的。
投票先を決めている無党派間では、与野党が拮抗

研究体制

- 谷口 将紀 NIRA総研理事・
東京大学大学院法学政治学研究科教授
- 宇野 重規 NIRA総研理事・
東京大学社会科学研究所教授
- 神田 玲子 NIRA総研理事・研究調査部長
- 川本 茉莉 NIRA総研 研究コーディネーター・研究員